



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力（考え）で地域を育てる」**地域まちづくり**をすすめています。市内各地域のまちづくり活動団体に
よって取り組まれている地域まちづくりの活動を**地まちのチカラ**で情報発信します。

2024.2.29

vol.99

《名古屋港 つどいの広場で“冬の盆踊り”を開催！》

地まちNEWS

2月10日、名古屋港つどいの広場で開催された「GOOD BOIL FESTIVAL MINATO 24」。港区出身の若手クリエイターたちが地元の活性化に向け、**地域に根付く歴史ある文化と自分たちの感性を組み合わせ**て名古屋港の新たなカルチャーを創造しようというイベントです。名古屋市が主催する「Poc upスクール NAGOYA」で企画され、まちに興味を持つ様々な属性の人々の協力で実現しています。



なんか港って
カッコいいかも…!!



冬に盆踊り!?
寒そうだけど
楽しそう!

「Poc upスクール NAGOYA」とは？



まちの魅力や課題を踏まえたまちづくり活動を通して、まちをより良くしていくプロセスを体験する実践学習型まちづくり講座です。まちづくり活動に必要なノウハウを学び、地域と連携しながら企画検討、社会実験を行います。この講座に参加した方が、実際のまちづくりの現場で、継続的にまちに関わり、まちづくり活動の担い手として活躍することを期待しています。（主催：名古屋市ウォーカブル・景観推進室）

《地下鉄上社駅に一日カフェが出現！》

かみやしる居場所づくり同好会 地域の取組み



同好会のみなさん



開催の様子



まちづくり絵馬

かみやしる居場所づくり同好会は「上社に関わりを持つ人の様々な観点から、意見交換・気持ちを共有する場から生まれるコミュニティの形成」をテーマに活動しています。Instagramを活用し、昨年7月から3回にわたって「かみやしるトーク」という「まち（かみやしる）について語る場」を創出。毎回異なるテーマを設定し、上社に住む・働く・通る人を対象に、意見収集・共有を図り「**上社にあったらいいなと思う〇〇**」として浮かび上がったカフェ、本屋を実現させました。会場は地下鉄上社駅コンコース。いつもは殺風景な場所に一日限りのカフェが出現。慌ただしく準備する中、10時の開始前から既に訪問者の姿が…。名東図書館による図書リサイクルコーナーやまちへの想いを記す「まちづくり絵馬」コーナーもあり、通行人も足を止めて興味津々。あったかい飲み物のセルフサービスで、心も体もホッと一息。通りがかりに自然と会話が生まれる様子は、**住む・働く・通る人をつなぐ新しいコミュニティの場**を体現しています。工夫を凝らした演出と、何より団体の熱意に溢れたイベントで、今後の展開がとても楽しみです。

地まちチャレンジ まちづくりを行う“人”にフィーチャーしたインタビュー



45人目 佐々木康人さんご紹介

学校法人東邦学園
スポーツ・文化振興局長

久野 正人さん

Q まちづくりに取組んできた中でうれしかったこと

A 地域スタッフの底力、学生の成長、何より参加者の笑顔。

Q これから取り組みたいと考えていること

A 東邦学園の地域との繋がりをより深め、続けていきたい。

Q 最後にひとこと

A 地域まちづくりは簡単なものではないと思いますが、名東区に高校・大学を構える学校法人としての貢献を継続していければと思っています。

名東区唯一の大学である愛知東邦大学を持つ東邦学園にお勤めの久野さん。同学園は、今年度、名東区・同区体育協会等とともに「名東区スポーツ・健康×まちづくり」に向けた五者協定を締結しました。コロナ禍でスポーツをする人や地域イベントの減少に拍車がかかった状況を打破すべく「スポーツチャレンジフェスティバル」「地域運動会再生」「親子で楽しいスポーツ体験教室」という3つのイベントを実施。中止となっていた地域の運動会を再開するなど、スポーツを通じて地域を活性化しています。活動は大学生・職員が地縁組織と連携しながら準備。最初は「学区連絡協議会ってなに？」と地域活動が身近でなかった若者たちが現在ではサークルを立ち上げ、地域と対話し主体的に運営しているそうです。久野さんは「彼らが社会に飛び出した後も、それぞれの場所で地域活動の担い手になってほしいと思っている」とお話しされていました。他にも大学の寮の一部をゲストハウスとして学生が運営したり、名東区政50周年記念ロゴを東邦高校の美術科生徒がデザインしたりと、学生が社会・地域とつながるきっかけを積極的に生み出している東邦学園の取り組み。若い力で名東区を明るくしています！

